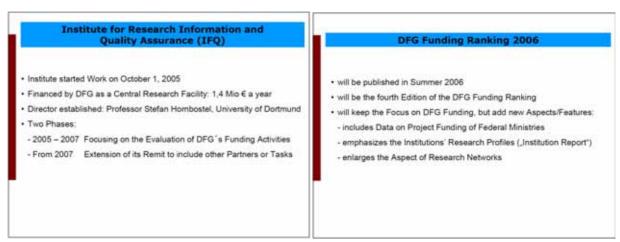
ドイツ

Presentation 8 "Country Briefing Germany"

Jens-Peter Gaul (Director, DFG)

- ・ 最近のドイツにおける研究開発評価に関わる以下のトピックスについて説明がなされた。
 - 1) IFQ (Institute for Research Information and Quality Assurance) の設立
 - 2) DFG Funding Ranking 2006 の出版
 - 3) 科学評議会 (Science Council) の評価活動
- ・ IFQ の概要は以下の通り。
 - 1) 2005年10月より活動開始。
 - 2) DFG が中心となって資金提供。年間予算 140 万ユーロ (約2億円)。
 - 3) 設立人はドルトムント大学の Stefan Hornbostel 教授。
 - 4) 主な活動予定については、2005~2007年は、DFG の資金配分活動の評価、2007年以降 はパートナーやタスクの評価に拡張予定。



IFQ の概要

DFG Funding Ranking 2006 の内容

- ・科学評議会 (Science Council) の評価活動の概要は以下の通り。
 - 1) 2003 年に連邦政府が科学評議会にランキングシステムの開発を依頼。
 - 2) 2004 年に科学評議会が提言をとりまとめ。
 - 3) 2005年7月よりランキングに関するパイロットスタディー開始。



・ ランキングの方法は、以下の通り。

1) 指針で定めているもの:事実と判断基準

2) 義務要件:自己報告

3) 評価基準

研究(質、効果、効率性)

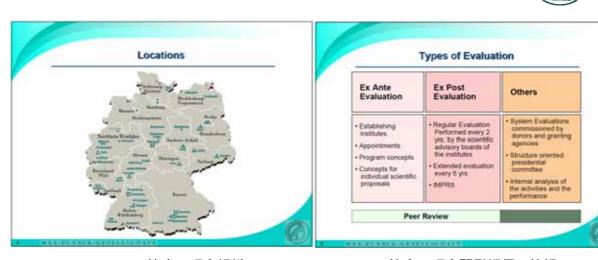
若手研究者の育成(プログラム、博士号取得)

知識の移転(妥当性、経済的な含意、教育への貢献、研究に対する社会の理解)

Presentation 9 "Max Planck 協会の評価活動の紹介"

Stefan Echinger (Head of the Division Strategic Planning, Max Planck Society)

- ・ Max Planck 協会は 1948 年に設立された非営利・独立の研究組織でドイツ国内に研究組織を 多数持つ。
- ・ 科学研究の事前評価と事後評価をピアレビューによって行う。
- ・ その他の評価局面については、今後の課題となっている。



Max Planck 協会の研究組織

協会の研究開発評価の枠組み

カナダ

Presentation 10 "Country Briefings: Canada Update"

Susan MORRIS (NSERC)

- ・ 「自然科学技術研究振興機構 (NSERC)」: 研究配分額は増加中。大学の学部の賞の評価、産業研究会議の評価、間接経費の評価、大型研究施設の利用についての評価を実施。
- ・「国家研究機構(NRC)」: 2004年から2005年にかけて、技術クラスター事業の評価や選定された特定の(共同)研究機関の評価等を実施。2005年から2006年にかけては、クラスター事業の2回目の評価、遺伝と健康イニシアティブの評価、遺伝に絡んだ融合領域の評価等を実施中。
- ・ 今後の課題としては、簡素で効果的な評価手法の開発・改良や研究機関における自己評価・ 管理

ツールの開発・改良を行うことなど。



【2006年G8研究開発評価ワーキンググループ会合について】

- ・ 次回開催候補地:カナダか日本。
- ・ 日本での開催については、時期に依存するので、他の会議等の動向も踏まえて検討が必要。